

プログラミング・エキスパート育成事業エキスパート育成
「競技プログラミングコース」指定者選考要項

1 概要

国際情報オリンピック出場や日本情報オリンピック等の上位入賞を目指す、競技プログラミングの優秀な人材を育成するため、本事業で開講する専門家による指導プログラムに参加することができる中高生（以下「指定者」という。）の選考を実施する。

2 指定者

(1) 対象

茨城県内の中学校、義務教育学校（後期課程）、中等教育学校、高等学校、高等専門学校、特別支援学校（中学部・高等部）に在籍し、学年が高等学校3年以下（中等教育学校や高等専門学校などの在校生は高等学校3年に相当する学年以下）で、日本情報オリンピック上位入賞（セミファイナルステージ以上）を目指す者

(2) 定員

10名程度

(3) 活動

指定者は、県教育委員会が開設した、競技プログラミングの専門家によるオンラインスクールや対面講習会に参加することができる。

3 指定者の公募

(1) 公募方法

県教育委員会のWebサイトで、指定者を募集要項により公募する。

(2) 応募方法

Googleフォームからの応募とする。

(3) 応募記載内容

氏名、学校名、学年、メールアドレス、競技プログラミングやその他プログラミングに関する実績 等

※「AtCoder」のアカウントを持っている者はレートやコンテストの成績等

4 応募要件

以下のいずれかの要件を満たす者とする。

(1) 日本情報オリンピック2次予選以上の出場経験がある者

(2) 過去にプログラミング・エキスパート育成事業のプログラミングスクール等に参加経験がある者

(3) プログラミング系コンテスト等の実績がある者

5 選考委員会

指定者を選考するにあたり、選考委員会を設置する。

(1) 委員長

高校教育課長を委員長とする。

(2) 委員

茨城県教育委員会 3名

（高校教育課長、高校教育課長補佐総括、高校教育課副参事 等）

外部有識者 1名以上

(競技プログラミングについて知見のある者を委員長が指名)

6 候補者の選考手順

(1) 上記4応募要件を満たす者を候補者として選考する。

(2) 候補者が定員を超える場合は、以下の実績を基に優先順位を付け、選考委員会の協議により選考する。

ア 日本情報オリンピック本選出場の実績 (女性部門を含む)

イ 日本情報オリンピック2次予選出場の実績

ウ 「AtCoder」等の競技プログラミング系サイトの実績

エ 競技プログラミング系コンテスト等の実績

オ その他プログラミング系コンテスト等の実績

(3) 候補者の選考結果については、本人あて (応募の際に記載したメールアドレス) にメールで通知する。

7 指定者の決定

(1) 候補者本人および保護者が署名した参加承諾書の提出により、指定者とする。

(2) 指定者の決定については、本人あて (参加承諾書に記載したメールアドレス) にメールで通知する。

8 指定期間

指定者として決定した日から当該年度の3月31日までとする。